

10年の歳月を経て生まれ変わった……

新版

4-Dコンセプト インプラントセラピー

審美性と機能性獲得に必要な組織保存と再建のテクニックとそのタイミング

石川 知弘／船登 彰芳 著

4-D CONCEPT

4か国語に翻訳された前著から10年。

新版となる本書は、長期症例を提示しながら当時のインプラント治療に検証を加え、

多くの文献や症例とともに抜歯即時埋入から歯槽堤保存、

注目のSocket Shield TechniqueをはじめとするPartial Extraction Therapy、

GBR、ソフトティッシュマネジメントのテクニック、矯正治療との連携、

無歯顎患者へのComputer Guided Surgeryまでを網羅。

1,400枚超の写真で綴る圧巻の手技は、審美インプラント治療をめざす全歯科医師必読といえる。



世界が注目した前著から10年. 当時の検証を行い,さらに進化した2人が 審美インプラント治療の新たな扉を開く!

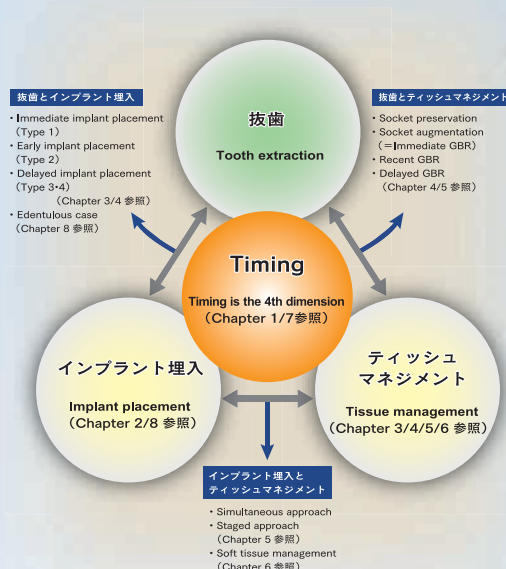
▶▶▶ 症例で4-Dコンセプトを学ぶ



「Timing」



▲チタンメッシュを用いたGBR.



「Timing」



▲プロビジョナルレストレーションによるティッシュスカルプティング.



きりとり線

注文書

新版4-Dコンセプトインプラントセラピー

審美性と機能性獲得に必要な組織保存と再建のテクニックとそのタイミング

モリタ商品コード:208040151

冊注文します。

●お名前		●ご指定納入店
●ご住所 (〒)		
●TEL	●FAX	

※ご記入いただいた個人情報は、弊社の新刊案内、講演会等の案内に利用させていただきます。
※ご指定歯科商店がない場合は送料をいただき、代金引換宅配便でお送り致します。

量・頬舌的位置・深度&長軸方向)」

著者紹介



石川 知弘 (いしかわ・ともひろ)

1988年 広島大学歯学部卒業
広島大学歯学部口腔外科第一講座
1990年 静岡県浜松市内勤務
1996年 静岡県浜松市にて石川歯科開業
2008年 船登彰芳, 北島一, 福西一浩,
南昌宏とともに 5-D Japan 設立



船登 彰芳 (ふなと・あきよし)

1987年 広島大学歯学部卒業
1991年 石川県羽咋市にてなぎさデンタルクリニック開設
1998年 石川県金沢市にてなぎさ歯科クリニック移転開院
2008年 石川知弘, 北島一, 福西一浩,
南昌宏とともに 5-D Japan 設立

現在, 5-D Japan ファウンダー, 日本臨床歯周病学会指導医
日本歯周病学会会員, 日本口腔インプラント学会会員
日本補綴歯科学会会員, 米国歯周病学会 (AAP) 会員
米国インプラント学会 (AO) 会員
ヨーロッパ審美学会 Affiliate member (EAED)
OJ (Osseointegration Study Club of Japan) 副会長
静岡県口腔インプラント研究会会長

現在, 5-D Japan ファウンダー
米国歯周病学会 (AAP) 会員, 米国インプラント学会 (AO) 会員
ヨーロッパインプラント学会 (EAO) 会員
ヨーロッパ審美学会 Affiliate member (EAED)



抜歯とティッシュマネジメント

- Socket preservation
- Socket augmentation (= Immediate GBR)
- Recent GBR
- Delayed GBR (Chapter 4/5 参照)



ティッシュ マネジメント

Tissue management
Chapter 3/4/5/6 参照)



CHAPTER6 インプラント周囲軟組織のマネジメント Management of Implant Soft Tissue

軟組織マネジメントの必要性

下顎臼歯部における軟組織マネジメント

上顎臼歯部における軟組織マネジメント

上顎前歯部における軟組織マネジメント

結合組織採取法の選択

まとめ

CHAPTER7 インプラント治療と矯正治療の連携 Combination between Implant Therapy and Orthodontic Treatment

はじめに

インプラント治療と矯正治療の連携

まとめ

CHAPTER8 4-D Concept による無歯顎に対するインプラント治療 — Computer Guided Surgery の応用—

4-D Concept Implant Therapy for Edentulous jaw — Clinical Application of Computer Guided Surgery —

はじめに

無歯顎における補綴デザインの分類

補綴デザイン選択の因子

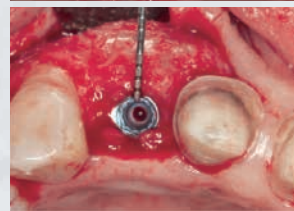
Computer Guided Surgery でのサージカルテンプレートの種類

Computer Guided Surgery を応用した臨床例

上顎無歯顎症例への補綴主導型インプラント治療のための治療計画立案と外科手技の一法

暫間補綴装置を用いた軟組織の調整と最終補綴装置装着

まとめ



「4-D」=「3-D（インプラントの近遠心的位置）」 + 「Timing」

CONTENTS

CHAPTER1 4-Dコンセプト&戦略

4-D Concept & Strategy

真の補綴主導型インプラント治療とは

The 4-D Concept for Esthetics Implant Therapyとは

4-D コンセプトに基づいたインプラント治療における戦略と原則

4-D コンセプトを具現化したケース

4-D コンセプトに基づいた少数歯欠損に対する治療手順とその手技

4-D コンセプトに基づいた多数歯欠損に対する治療手順とその手技

CHAPTER2 三次元的埋入位置とスペースマネジメント

3-Dimensional Implant Placement & Space Management

骨形態の三次元的診断に基づいた三次的埋入位置とそのマネジメント

CHAPTER3 審美領域におけるTotal Extraction Therapy:

その検証と進化—抜歯即時埋入・歯槽堤保存—

Total Extraction Therapy in Esthetic Area: Its Verification and Evolution

— Immediate Implant Placement, Ridge Preservation —

抜歯とインプラント埋入時期の分類、抜歯即時埋入の対象歯

抜歯即時埋入の予知性について

文献からみる抜歯後の治癒変化と抜歯窩保存の検証

抜歯即時埋入・抜歯窩保存の検証

歯槽堤保存 (ridge preservation) の検証とわれわれの考え方

4-D コンセプトに基づいた戦略的抜歯即時埋入

GBRの前処置としての抜歯窩保存の意義

抜歯窩保存の問題点

抜歯即時埋入の新たな可能性: Prosthetic socket sealing

(フラップレス抜歯即時埋入+即時プロビジョナルレストレーションによる歯槽堤形態維持)

CHAPTER4 審美インプラント治療における

Partial Extraction Therapyの検証とその進化

Partial Extraction Therapy in Esthetic Implant Therapy: Its Verification and Evolution

PET (Partial Extraction Therapy)

HIT (Hybrid Implant and Tooth) placement: 新たな可能性の模索

まとめ

CHAPTER5 GBR の進化とその臨床的意義

Evolution of GBR and its Clinical Significance

GBRの必要性

歯槽堤増大のオプション

歯槽堤増大のタイミング

内側性のGBRと外側性のGBR

審美領域における内側性GBRの新たな術式:

Minimal invasive Resorbable membrane Pouch Technique

外側性GBRの目的

コラーゲン膜とチタンメッシュによるGBR

まとめ



抜歯とインプラント埋入

- Immediate implant placement (Type 1)
- Early implant placement (Type 2)
- Delayed implant placement (Type 3・4)

(Chapter 3/4 参照)

- Edentulous case (Chapter 8 参照)



インプラント埋入

Implant placement
(Chapter 2/8 参照)



抜歯

Tooth extraction

Timing

Timing is the 4th dimension
(Chapter 1/7 参照)

インプラント埋入と ティッシュマネジメント

- Simultaneous approach
- Staged approach (Chapter 5 参照)
- Soft tissue management (Chapter 6 参照)